

- 問1 岐阜県北部の白川村にあり、豪雪に耐える急勾配の屋根が特徴的な、世界遺産にも登録されている伝統的な建築様式を何という？
- 問2 洪水などの水害を防ぐために、集落の周囲を堤防で囲み、地盤を高くした土地利用の形態を何という？
- 問3 濃尾平野を形成する、木曾川・長良川・揖斐川の3つの大きな河川をまとめて何という？
- 問4 福井県で眼鏡フレームの国内シェアが非常に高く、産地として知られる市を何という？
- 問5 富山県において、雪解け水をもたらし、扇状地が発達するきっかけとなった高く険しい山脈を何という？
- 問6 山梨県にある、周囲を高い山々に囲まれ、夏と冬の寒暖差が大きい盆地を何という？
- 問7 名古屋港から浜松市にかけて広がる沿岸部に形成され、大型の船舶が出入りできる工業地帯を何という？
- 問8 長野県内を流れる信濃川の、上流から中流にかけての名称を何という？
- 問9 長野県から岐阜県を流れ、愛知県と三重県の県境付近で注ぎ込む湾を何という？
- 問10 岐阜県的美濃地方を中心に、長い歴史を持つ伝統的な和紙を何という？
- 問11 洪水などの浸水時に、食料や備蓄品を保管して避難生活を行うための場所を何という？
- 問12 かつての水晶細工の技術を生かし、山梨県で発達した精密な工業を何という？
- 問13 必要な部品を必要な分だけ生産する、東海工業地域などで導入されている生産方式を何という？
- 問14 輪中のように、河川の氾濫による浸水を防ぐために集落の周囲に築かれるものを何という？
- 問15 静岡県を通り、首都圏と中京圏・近畿圏を短時間で結ぶ日本の大動脈となっている鉄道を何という？
- 問16 長野県などの標高が高い地域で、出荷時期を調整するために行われる栽培方法を何という？
- 問17 愛知県の西部に広がり、木曾川などの河川によってつくられた肥沃な平野を何という？
- 問18 新潟県にある、豊かな水を利用して稲作が非常に盛んな広大な平野を何という？
- 問19 愛知県を中心に盛んな、日本の製造業の大きな割合を占める工業の種類を何という？
- 問20 江戸時代に加賀藩の城下町として発展した、石川県の県庁所在地を何という？
- 問21 愛知県に位置し、世界的な自動車メーカーの本社があることから自動車工業が非常に盛んな市を何という？
- 問22 静岡県にそびえ立ち、標高3776メートルで日本最高峰を誇る山を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 合掌造り	合掌造りは、その名の通り手のひらを合わせたように三角形に組み立てられた急勾配の屋根が最大の特徴です。釘を一本も使わず、太い梁を組み合わせて丈夫な構造を作っています。この地域特有の気候風土と、人々の生活の知恵が結びついて生まれました。
問2	答え 輪中	輪中は、集落や農地の周囲をぐるりと堤防で囲むことで、洪水が浸入するのを防ぐ土地利用の形態です。この囲いの中に、家屋や畑などを集約させて生活圏を守りました。この知恵によって、不安定な土地でも安定した居住が可能になりました。
問3	答え 木曾三川	木曾三川は、岐阜県から愛知県・三重県にかけて流れる3つの主要河川です。それぞれが複雑に合流・分流しながら伊勢湾へ流れ込んでおり、長年の堆積物によって広大な平野が形作られました。
問4	答え 鯖江市	明治時代に眼鏡づくりが導入されて以来、分業体制を確立し、高い技術力を維持してきました。現在では世界的な眼鏡産地として知られ、デザインから製造までを一貫して行う企業が多く存在します。
問5	答え 立山連峰	立山連峰は、富山県東部に位置する日本屈指の山岳地帯です。冬の間に大量の雪を蓄え、春から夏にかけてその雪解け水が扇状地を流れ下ることで、水力発電や稲作に利用されています。この急流が運ぶ土砂が大きな扇状地を形成し、その上に富山市などの市街地が築かれました。
問6	答え 甲府盆地	内陸部にあるため海からの湿った空気が届きにくく、夏は非常に暑く冬は冷え込むという顕著な寒暖差があります。また、日照時間が長いという特徴も持っています。
問7	答え 中京工業地帯	中京工業地帯は、愛知県を中心に三重県まで広がる日本屈指の工業地帯です。トヨタ自動車をはじめとする自動車工業が非常に盛んで、関連する部品メーカーや機械工場が多く集まっています。また、石油化学や繊維産業なども発達しており、日本の製造業を支える重要な拠点となっています。
問8	答え 千曲川	長野県内では「千曲川」と呼ばれ、山間部から盆地を流れていきます。新潟県に入ると名前が「信濃川」となり、越後平野を北へ流れて日本海へと注ぎます。千曲川の流域は肥沃な盆地が広がり、果樹栽培などの農業が非常にさかんです。
問9	答え 伊勢湾	愛知県と三重県に囲まれた伊勢湾は、太平洋に面した湾です。古くから水運の拠点として利用され、湾岸部には名古屋港をはじめとする大規模な港湾施設が発達しました。周辺は工業地域としても栄えています。
問10	答え 美濃和紙	美濃和紙は、薄くて丈夫でありながらも温かみのある手触りが特徴です。江戸時代には幕府の公文書用紙として使われるなど、高い品質が評価されて全国に名が知れ渡りました。
問11	答え 水屋	水屋は、輪中の集落において家屋と別に設けられた避難用の建物です。周囲よりも少し高い場所に建てられ、洪水が起きた際には食料や大切な備蓄品を運び込み、家族で避難する場所として使われました。命を守るための知恵が詰まった建物です。
問12	答え 精密機械工業	細かな部品を扱う水晶細工で培われた手先の器用さや加工技術が、後に時計やカメラ、医療機器などを製造する精密機械工業へと引き継がれました。これにより、内陸県でありながら高度な技術を要する産業が発展しました。
問13	答え ジャストインタイム	ジャストインタイムは、自動車工業を中心に導入された生産管理手法です。完成までのスケジュールに合わせて部品を生産・搬入することで、余分な在庫を持たずに効率的に組み立てを行うことができます。この方式により、無駄を徹底的に省き、高い生産性と品質を保つことが可能となりました。
問14	答え 堤防	堤防は、河川の流れを制御し、増水時に周辺の集落や農地へ水が流れ込むのを防ぐための設備です。特に木曾三川のような大きな河川の周辺では、非常に高く頑丈な堤防が築かれています。家自体を少し高い場所に建てるなどの工夫と組み合わせ、人々の安全が確保されてきました。
問15	答え 東海道新幹線	1964年に開業した東海道新幹線は、日本の工業地帯をつなぐ重要な路線です。それまでの在来線とは異なる新しい技術やシステムを採用したことで、大幅な時間短縮と大量輸送を可能にしました。
問16	答え 抑制栽培	八ヶ岳山麓などの標高が高い地域では、平地よりも気温が低いいため、野菜の成長がゆっくりになります。これを利用し、全国の需要が高い時期に収穫して出荷を調整する手法を抑制栽培といいます。
問17	答え 濃尾平野	濃尾平野は日本有数の広大な平野で、温暖な気候を利用して稲作や野菜の近郊農業が盛んです。平野部は非常に平坦であるため、古くから水害に悩まされてきましたが、同時にその豊かな土壌は農業生産を支えてきました。
問18	答え 越後平野	越後平野は信濃川や阿賀野川の流域に広がる日本最大級の平野です。肥沃な土壌と水が豊富なため、江戸時代から「米どころ」として知られており、現在も日本一の米の生産量を誇る新潟県の農業を支える基盤となっています。
問19	答え 自動車工業	愛知県は世界的な自動車メーカーの本拠地があり、その関連工場が周辺地域に多数集まっています。部品の製造から組み立てまでを一貫して行う体制が整っており、経済において非常に大きな役割を担っています。関連企業の数も多く、多くの雇用を生み出しています。
問20	答え 金沢市	金沢市は、加賀百万石と称された加賀藩の拠点として栄えました。藩主前田氏が学問や文化を奨励したため、茶の湯、和菓子、金箔工芸といった伝統文化が高度に発達しました。市中心部には兼六園や長町武家屋敷跡などが残り、当時の面影を今に伝えています。
問21	答え 豊田市	豊田市は、日本を代表する自動車メーカーの工場が集まる企業城下町として発展しました。自動車の組み立てだけでなく、多くの部品工場や関連会社が周辺に集積しており、高い生産効率を誇ります。
問22	答え 富士山	富士山は静岡県と山梨県にまたがる、日本で最も高い山です。その優美な姿から古来より信仰の対象とされ、多くの芸術作品の題材にもなってきました。地質学的には活火山に分類され、周囲には富士五湖などの自然景観が広がっています。